



会議議事録

会議名	2022年度 地域リハ推進委員会
-----	------------------

開催概要

開催日時	令和5年 2月 17日(金) 13:00~15:00
開催場所	オンライン会議
出席者 (敬称略)	委員長：平田好文 副委員長：大串幹 委員会顧問：浜村明徳 齊藤正身 委員：内田正剛 岡 光孝 岡持利巨 佐藤英雄 高柳公司 田中康之 堀田富士子 三宅貴志 欠席：松坂誠應(名簿順)

議事内容
<p>【議題1：第2回リハ研修会の内容について】2023年3月12日(日) 13:30-16:30</p> <ol style="list-style-type: none">2月4日 地域リハビリテーション塾 1期生最終回に参加し、ここまでの進捗など確認、研修会当日のインタビュー内容や質問候補者など調整した。(小泉、岡持)講師との打合せ、会場レイアウトについて確認 <p>【議題2：3月12日研修会の運営方法について】</p> <ol style="list-style-type: none">申し込み状況から：①対面開催のみ、②対面と同時配信のハイブリッド方式、③対面と事後配信のオンデマンド配信、の3つの方法について意見交換結果、参加方法は対面を基本として、当日講師に録画と希望者への限定配信を確認し、可能であればオンデマンド配信を試みる事に。参加費については、三役に確認し進める事になった。参加案内については、引き続き多方面に実施を確認した。 <p>【議題3：第1回の調査配信について】</p> <ol style="list-style-type: none">アンケート第1弾(Googleフォーム)の内容修正し、会員施設に調査依頼。 https://forms.gle/fnSRAufVbyt1dS8t9 → 今回は、地域リハ担当者の名前をお応えいただくのみで、第2段調査につなげるもの → 2月20日の週に発信、3月10日まで <p>【議題4：第2回調査項目について】</p> <p>第2回調査を毎年6月に実施するにあたり、質問項目につき意見交換した。 地域リハビリテーションの推進課題に則り、塾生などがこれまでの取り組んできた地域での活動例を元に、取組の有無を回答していただくことになった。(委員での意見交換から、質問項目は引き続き調整する)</p> <p>回答方法は、yes・no で回答してもらう方向で準備を進める。</p>



質問項目は、以下の通り

1. 推進課題 1：リハビリテーションサービスの整備と充実

① 介護予防、障害の発生・進行予防の推進

実施している取組の例

- 介護予防サポーター・ボランティアの養成
- 自主グループの立ち上げ支援
- 自主グループの継続支援
- サポーターやグループのフォローアップ講座・出前講座
- 市民向け普及啓発活動での住民発表
- 専門職・関係者向け普及啓発活動（事業報告や取組報告）
- 取組実施・推進のための関係者会議
- 取組に協力する人材を育成するための研修会運営
- 元気高齢者への普及啓発・健康教室など（ポピュレーション）
- 虚弱高齢者への普及啓発・健康教室など（ハイリスク）

その他（ ）

② 急性期・回復期・生活期リハビリテーションの質の向上と切れ目のない体制整備

実施している取組の例

- 急性期リハに関する研修会・連携会議等開催
- 回復期リハに関する研修会・連携会議等開催
- 生活期リハに関する研修会・連携会議等開催
- 市民向け健康講座の講師など（単発）
- リハビリテーションに関する市民相談受付の窓口
- その他（ ）

③ ライフステージにそった適切な総合的リハビリテーションサービスの提供

実施している取組の例

- 障害児・者本人への支援・相談の実施
- 上記の介護者への支援（相談・負担軽減・再検討など）
- 特別支援学校、近隣学校への支援・情報提供など
- 近隣学校との相互交流
- 必要時の書類作成やメンテナンス的な相談・支援
- 就労移行支援の実施
- 運転やモビリティ利用に関する支援の実施
- 退院後の環境の確認と施設内での疑似体験や
- 介護者の生活リズム、経済状況の把握と援助
- 介護者の負担軽減（身体・精神・時間拘束）のための支援
- 介護者ネットワーク等の紹介や参加の支援
- 障害のある当事者・家族会の主催、設立、継続等の支援
- 認知症当事者・家族の悩みや思いを聞く場の提供



- ・ 認知症のある当事者・家族のネットワーク等の紹介・支援
- ・ 生活基盤全般に係る課題解決に資する相談・支援
- ・ 望む終末の支援（医療・ケア・リハの提供）
- ・ 終末周辺の家族へのケア（グリーンケア、家族介護教室）
- ・ 市民：終末にむけた普及啓発（ACPの周知や学習会、体験会）
- ・ 専門職：終末にむけた支援の知識・技術の研鑽の場
- ・ ADL・IADL以外の、興味・関心ある暮らしの要素評価
- ・ したい活動、参加したい場などの疑似体験や参加支援
- ・ 施設内での「その人らしさ」を支えるリハの検討
- ・ その他（ ）

2. 推進課題2：連携活動の強化とネットワークの構築

① 医療介護・施設間連携の強化

実施している取組の例

- ・ 急性期・回復期・生活期の相互訪問
- ・ 前施設・後施設への情報の提供や引継ぎ（パス等の利用）
- ・ 情報提供に関する書式・項目等の検討、連絡会議の実施
- ・ リハビリテーションの質の向上に資する事例検討会
- ・ リハビリテーションの質の向上に資する意見交換会
- ・ 入院調整におけるケアマネジャー等との連携
- ・ 退院調整におけるケアマネジャー等との連携
- ・ 退院後に利用出来るインフォーマルな資源の紹介
- ・ 退院後に利用出来るインフォーマルな資源への移行支援
- ・ その他（ ）

② 多職種協働体制の強化

実施している取組の例

- ・ 医療・介護関係者等によるネットワーク・団体の構築
- ・ 上記団体によるリハに関する市民向け啓発活動
- ・ 上記団体による研修会や意見交換会など多職種合同研修
- ・ 自施設以外の関係者との名刺交換会や交流会など
- ・ 医師会との協働の取組
- ・ 保健所との協働の取組
- ・ 市区町村独自の取組
- ・ 認知症初期集中支援チームへの協力
- ・ 認知症地域支援推進員との連携
- ・ 地域包括支援センターとの連携
- ・ その他（ ）

③ 発症からの時期やライフステージにそった多領域を含むネットワークの構築



実施している取組の例

- 見守りネットワークの構築や検討会議等への参加
- 生活支援コーディネーターとの連携
- 社会福祉協議会への事業協力
- 地域包括支援センターとの直接的協働体制
- 緊急避難的な支援が必要な際の受け入れ
- 地域支援事業全体の検討への協力
- 労働災害予防・壮年からの健康増進・予防への協力
- 認知症の専門機関（疾患センター等）の把握、連絡網
- 精神科救急等、紹介できる情報の把握、連絡網
- その他（ ）

3. 推進課題 3：リハビリテーションの啓発と地域づくりの支援

① 市民や関係者へのリハビリテーションに関する啓発活動の推進

実施している取組の例

- 自治会の集会への参加
- 公民館活動への協力
- 失語症友の会活動への協力
- 地区レベルの互助の活動に資する意見交換への参加
- 見守りや支え合いを検討する市区町村協議体等への参加
- 学校関係者への介護・ケアラーに関する働きかけ
- その他（ ）

② 介護予防にかかわる諸活動を通じた支えあいづくりの強化

実施している取組の例

- 生活支援体制整備への参加
- 地域ケア個別会議への助言者参加
- 地域ケア個別会議への運営協力（コーディネーター等）
- 地域ケア個別会議への事業所参加
- 地域ケア推進会議への参加
- 地域ケア推進会議への運営協力（コーディネーター等）
- 包括職員・ケアマネジャー等との同行訪問（評価等）
- 総合事業C 訪問を活用した、障害の進行予防
- 総合事業C 通所を活用した、障害の進行予防
- 総合事業等直接支援に関する関係者会議
- 上記などに関する、県全域での情報共有・研修会
- 上記などに関する、二次医療圏での情報共有・研修会
- 上記などに関する、市内での情報共有・研修会
- 上記などに関する、施設内での情報共有・研修会



- 上記などに関する、施設内での検討
- その他（ ）

③ 地域住民も含めた地域ぐるみの支援体制づくりの推進
実施している取組の例

- 多職種での定期的な意見交換会や事業計画づくり
- ニーズ調査等への協力
- 施設周辺の清掃活動への参加
- 施設近隣のハザードマップや避難計画等の把握
- 施設近隣の避難所の把握（環境のリサーチ）
- 施設近隣の避難・災害時活動の把握
- 災害時に協力出来る場所・物品の検討や用意
- 災害時対応の計画やそれに基づくトレーニング
- その他（ ）

次回予定	4月中旬に委員会を開催方向で調整し、委員会メンバーに相談		
議事録作成日	2023. 3. 14	議事録作成者	岡持利亘

委員会議事録は理事会資料として提出します。

会議終了後、1週間以内にメールで事務局へご提出ください。〔 提出先：info@rehakyoh.jp 〕